

bio-aesthetics:

自然計算とハーネスをめぐるシンポジウム

パネリストと講演題目

岩崎秀雄（早稲田大学理工学術院准教授・metaPhorest主宰、生命科学・造形美術）

「バイオメディア・アートの現場－metaPhorestとSynthetic Aesthetics」

鈴木理絵子（エステティシャン、東京ファセテラピー(TFT) 代表）

「未来の触覚－知性を以て創り出す新しい触覚の世界」

鈴木泰博（名古屋大学大学院情報科学研究科准教授・複雑系科学）

「”自然計算”トハナニカ？～アルゴリズムからハーネスへ」

秋庭史典（名古屋大学大学院情報科学研究科准教授・美学）

「バイオエスティクス (bio-aesthetics) の可能性」

概要

「自然計算」と「ハーネス」。2つは、科学と芸術を結び、よりよい未来を追求するために重要な自然観です（『あたらしい美学をつくる』みすず書房刊）。本シンポジウムは、米英合同研究プロジェクト「シンセティック・エスティクス」メンバーとして科学と芸術の2領域で活躍する岩崎秀雄先生、独自の触覚記譜法（触譜）を開発し他に類をみない活動続けるプロフェッショナルなエステティシャン鈴木理絵子先生らを招き、あたらしい自然観に基づくあたらしい美学（エスティクス）の可能性を追求します。

日付： 2011年12月18日（日）

場所： 名古屋大学東山キャンパス
野依記念学術交流館 2F
カンファレンスホール

時間： 午後1時から4時

参加： 無料（申込不要）

主催： ビオエスティカ実行委員会

共催： 名古屋大学大学院情報科学研究科

協賛： 人工知能学会 SIG-NAC研究会

問合先：秋庭史典（名古屋大学大学院情報科学研究科） akibaf@is.nagoya-u.ac.jp

パネリストについて、会場へのアクセスなど、関連情報は次をご覧ください。 <http://d.hatena.ne.jp/lejb622/>

[本シンポジウムは科学研究費補助金基盤研究（C）「ハーネスとパラドクス性－科学と芸術をむすぶ自然観の研究」によるものです。]